



コロナ禍で中止を余儀なくされていた、矢掛高等学校・旧矢掛中学校・旧矢掛高等学校同窓会総会及び懇親会が、令和5年11月5日(日)倉敷アイビースクエアに於いて、134名の同窓生(昭和24年〜平成4年卒業生)が出席して開催されました。

令和5年度

同窓会総会

幹事団より

幹事長 森 博 史
(昭和47年卒)

4年ぶりということなともあり、当初は手探り状態で遅々として準備が進まない状況でしたが、同窓生(先輩、後輩)の力添え、同窓会本部・支部の支援、同窓会総会開催の広報活動(諸所への案内掲示、ケーブルテレビでの案内放映)、配布資料や記念品の準備など、多方面の協力を得ることができ、開催することができました。

総会は物故者への黙祷から始まり、池田道孝会長の挨拶では、同窓会の現状や活動状況の報告などがありました。続いて



今年度幹事代表が開催の挨拶を行った後、校歌(旧矢掛高等学校・矢掛高等学校校)を斉唱しました。矢掛高等学校校長の高月秀人先生の挨拶では、母校の現状や取り組み、公的教育機関としての存在意義などについて話をしていたいただきました。

最後に同窓会事務局長の細川誠先生に議事を進めていただき、資料(矢高同窓会報50号)を基に令和4年度事業報告及び会計決算、令和5年度事業計画及び会計予算などについて説明がありました。御出席の皆様との協力で滞りなく進行することができ終了しました。

懇親会は、令和4年に矢掛高校支援の輪を広げる目標で設立された同窓会矢掛町役場支部支部長の山岡敦町長の挨拶(矢掛町役場支部について、



水島灘源平太鼓

勇壮な演技は皆を魅了しました



矢掛高校への支援についてなど」と乾杯の音頭で始まりました。

飲食をしながらの歓談時間に入り、最初に開催を祝って、水島灘源平太鼓(メンバー6人、代表は昭和46年卒業の同窓生)による魅力的で迫力のある和太鼓の演奏で盛り上げていただきました。

その後、令和3年12月17日に行われた矢掛高等



学校創立120周年記念式典の映像(無音声)が檀上スクリーンに流れる中、和やかな雰囲気の中で交を温めたり親睦を深めたりしながら有意義なひと時を過ごしました。

懇親会後半では、母校の変動期に在籍(旧矢掛高等学校)し、昭和24年に卒業された、最年長出席者の方に、池田会長よりサプライズで記念の花束を渡していただきました。さらに、お楽しみ抽選会も行われ、時間が経つのも忘れるほどの雰囲気での交流の輪が広がっていました。

終了時刻が近づき、令和6年度の同窓会総会開催について、担当する昭和48年卒業生の代表から挨拶をしていただいた後、今年度幹事が閉会の挨拶を行い散会となりました。



御出席の皆様には、母校の教育活動を支援するための募金に御協力していただきました。また、お礼の言葉やお便りもたくさんいただきました。心からお礼申し上げます。

幹事一同、開催できた喜びとともに、同窓生、矢掛高校教職員及び協力していただいた全ての皆様に、深く感謝申し上げます。

高校三年間を振り返って

河上 将大 (令和6年卒)

高校三年間を通して一番大変だったのは、受験期です。自分はテスト勉強で、夜更かしして勉強などしたことがなかったの

令和6年 卒業生より

と思います。まず、自分の志望校の試験内容をしっかり把握し、そのみに集中して勉強するこ

とです。二次試験では3教科だけでなく小論文なども、試験内容に入ってきます。そして、小論文はある程度の数をこなさないといけないので、集中的に解いたりするなど、自分の志望校に合った勉強方法を見つけていきました。次に、夜更かしをしての勉強は効率が悪いです。記憶というものは寝るときに、必要なものとそうでないものの取捨選択をおこないます。つまり、しっかりと寝ないと体に悪いだけでなく、記憶の定着にも影響して効率が悪くなります。勉強時間をもっと増やしたいときは、少し早く起きて朝方に勉強することがよいでしょう。そして、受験期は勉強ばかりでストレスがたまったりするので、自分に合ったストレスの解消法を見つけることが、受験を成功させるための

カギとなるかもしれません。

高校は中学校よりも勉強が大変になりめんどくさいこともたくさんありますが、もちろん楽しい行事や、自分の好きな分野

受験勉強を通して

室崎 真央 (令和6年卒)

について詳しくなれたり、楽しいことやわくわくしたりすることがたくさんあり、3年間はあっという間に過ぎてしまうので高校生活一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。

私が高校生活の中で一番印象に残っていることは受験対策です。私の場合、「書道」というあまりメジャーではない分野での大学進学を目指していたため、クラスの中の他の人がするような受験対策とは全然方向性が違っていました。志望大学の一般選抜の受験内容が書道実技一本であったため、他の人が対策しているような小論文や学力検査に向けてなどの対策はしていませんでした。その分受験科目が書道実技であったため、私はほぼ毎日放課後学校の書道準備室で実技試験に向けての対策をしていました。

この受験勉強の中で楽しかったことは、友達と一緒に勉強に付き合ってくれたことです。先に総合型や推薦型で大学が決まった友達に、たまに自分が受験勉強をしている最中に一緒に残ってくれて、会話をしながら受験勉強をするということがありました。「受験」という不安や心配などの感情が、「友達と一緒に勉強する」ということで緩和されていくようで、私はその時間がとても好きでした。毎日4時過ぎから6時過ぎ、または7時近くまでずっと書いていたことがほとんどだったので、一人でする受験勉強と誰かと一緒にすることの差をより大きく感じました。自分の中でうまく書くことができなかったものでも、友達は「上手じゃん!」とほめてくれることが多く、自己肯定感や自信につながり、その分実技に取り組む姿勢やメンタル面での成長につながっていました。自分のことを支えているという自覚は

その友達にはなかったとは思いますが、私は実際その一緒に勉強に付き合ってくれた友達の存在にとっても助けられました。

その他にも修学旅行や矢高祭など、楽しい出来事はたくさんあったけど、自分の中で一番友達の存在を大きく感じ、助けられた思い出は受験勉強の時でした。皆さんももし友達に不安を抱えていたり、何かで悩んだり、または何かには何か挑戦していることがあったら、そばにいてあげてください。それだけでその人は自分に対する「支え」を感じます。

YAKAGE
HIGH SCHOOL
GUIDE



岡山県立矢高高等学校

●事務局より●

一、同窓会常任幹事会について

令和6年7月20日(土)、本校高妻会館において常任幹事会が開催され、次の6件について協議された。

(一) 役員の交代について

(二) 令和5年度事業報告及び会計決算について

(三) 令和6年度事業計画及び会計予算について

(四) 被表彰者について

(五) 令和6年度同窓会総会について

(六) 令和7年度同窓会総会の幹事団について

(一) 役員の交代について (敬称略)

1. 倉敷支部 支部長

(退任) 土師 眞一 (昭39卒)

(新任) 中西 章 (昭41卒)

2. 関東支部 支部長

(退任) 石井祥一郎 (昭36卒)

(新任) 木口 利男 (昭45卒)

同 幹 事

(退任) 川井 洋右 (昭35卒)

(新任) 小門 謙 (昭45卒)

3. 監査委員

(昨年度退任) 木口 東 (昭37卒)

(新任) 藤井 秀彦 (昭50卒)

(二) 令和7年度同窓会総会について

来年度の同窓会総会の幹事団はローテーション表により、「昭和49年卒」「昭和59年卒」「平成6年卒」「平成16年卒」「平成26年卒」「令和6年卒」の6期の卒業生が担当することになる。

二、被表彰者について

○倉敷支部(支部長) 土師 眞一 (昭39卒)
○関東支部(支部長) 石井 祥一郎 (昭36卒)

令和5年度 事業報告

月 日	事 業 内 容 (※印は支部活動・その他)
5月16日(火)	第1回 同窓会総会準備委員会 (矢掛高校)
5月16日(火)	※関東支部総会 於：リコッタ丸の内(旧ボールスター) 25名
6月 4日(日)	※第36回倉敷たかつま会総会 於：サンロード吉備路 24名
7月 7日(金)	会計監査委員会 於：本校応接室
7月14日(金)	第2回 同窓会総会準備委員会
7月22日(土)	同窓会常任幹事会 於：本校高妻会館1階
9月 9日(土)	第3回 同窓会総会準備委員会
10月 5日(木)	第4回 同窓会総会準備委員会
11月 5日(日)	同窓会報第50号発刊
11月 5日(日)	同窓会総会 於：倉敷アイビースクエア(エメラルドホール) 134名
2月29日(木)	同窓会入会式 於：本校 入会者：110名
3月26日(火)	「伸びる・伸ばす矢高奨学金」授与式 7名

令和6年度 事業計画

月 日	事 業 内 容 (※印は支部活動・その他)
5月15日(水)	第1回 同窓会総会準備委員会 (矢掛高校)
5月17日(金)	※関東支部総会 於：東天紅東京国際フォーラム店 47名
6月 2日(日)	※第37回倉敷たかつま会総会 於：サンロード吉備路 24名
7月 7日(日)	会計監査委員会 於：本校応接室
7月 9日(火)	第2回 同窓会総会準備委員会
7月20日(土)	同窓会常任幹事会 於：本校高妻会館1階
9月 日()	第3回 同窓会総会準備委員会
10月 日()	第4回 同窓会総会準備委員会
11月 4日(月/祝)	同窓会報第51号発刊
	同窓会総会 於：倉敷アイビースクエア(エメラルドホール)
2月28日(金)	同窓会入会式 於：本校 入会予定者：91名
3月 日()	「伸びる・伸ばす矢高奨学金」授与式

令和5年度 同窓会会計決算書

令和6年3月31日
(単位：円)

収入の部

項 目	予 算 額	収入済額	比較増減	摘 要
入会金	666,000	660,000	△6,000	◎6,000円×110人(令和6年3月卒業生)
寄付金	0	475,253	475,253	令和5年度同窓会総会幹事団から
雑収入	1,019	125	△894	普通預金・積立定期預金利息
繰越金	1,046,981	1,046,981	0	前年度繰越金
合 計	1,714,000	2,182,359	468,359	

支出の部

項 目	予 算 額	支出済額	差引残高	摘 要
会議費	15,000	2,262	12,738	常任幹事会
総会費	150,000	150,000	0	総会準備金(令和5年度同窓会総会幹事団へ)
通信費	70,000	9,968	60,032	切手・葉書
旅 費	150,000	49,640	100,360	関東支部総会参加
領子・印刷	66,000	66,000	0	㈱広済堂ネクストへ
渉外費	100,000	0	100,000	
備品費	0	0	0	
需用費	250,000	209,300	40,700	会報印刷・卒業記念品(印鑑)・振替手数料等
慶弔費	50,000	0	50,000	表彰者記念品(備前焼)
母校運動費	50,000	0	50,000	
積立金	300,000	300,000	0	新規積立定期預金(同窓会積立金全計へ)
予備費	513,000	0	513,000	
合 計	1,714,000	787,170	926,830	

(収入済額)2,182,359円-(支出済額)787,170円=(次年度繰越額)1,395,189円

岡山県立矢掛高等学校教育振興会

(創立110周年記念事業募金) 令和5年度 会計決算

令和6年3月31日
(単位：円)

収入の部

項 目	金 額	備 考
前年度残金	214,167	
利 息	5	
繰 入 金	1,000,000	同窓会積立金全計から繰入
合 計	1,214,172	

支出の部

項 目	金 額	備 考
需 用 費	550	奨学金表彰用祝のし袋
伸びる・伸ばす矢高奨学金	700,000	10万円×7名
合 計	700,550	

(収入済額)1,214,172円-(支出済額)700,550円=(次年度繰越額)513,622円

令和6年度 同窓会会計予算書(案)

(単位：円)

収入の部

項 目	令和6年度予算額	令和5年度予算額	比較増減	摘 要
入会金	540,000	666,000	△126,000	◎6,000円×90人(R7年3月卒業予定者)
寄付金	0	0	0	
雑収入	811	1,019	△208	預金利息
繰越金	1,395,189	1,046,981	348,208	前年度繰越金
合 計	1,936,000	1,714,000	222,000	

支出の部

項 目	令和6年度予算額	令和5年度予算額	比較残額	摘 要
会議費	15,000	15,000	0	常任幹事会
総会費	150,000	150,000	0	総会準備金(令和6年度同窓会総会幹事団へ)
通信費	70,000	70,000	0	切手・葉書
旅 費	150,000	150,000	0	関東支部総会、近畿支部総会参加
領子・印刷	66,000	66,000	0	㈱広済堂ネクストへ
渉外費	100,000	100,000	0	
備品費	0	0	0	
需用費	250,000	250,000	0	会報印刷・卒業記念品(印鑑)・振替手数料等
慶弔費	50,000	50,000	0	表彰者記念品
母校運動費	50,000	50,000	0	学校・生徒への還元
積立金	300,000	300,000	0	同窓会積立金全計へ繰出
予備費	735,000	513,000	222,000	
合 計	1,936,000	1,714,000	222,000	

(必要に応じて項目間の移用を認める。)

令和5年度 同窓会積立金会計決算書

令和6年3月31日
(単位：円)

項 目	予 算 額	収入済額	支出額	差引残額	摘 要
繰越金	6,300,000	6,300,000	0	6,300,000	平成20～22・24～令和4年度積立金
積立金	300,000	300,000	1,000,000	△700,000	令和5年度本会計から繰入 教育振興会会計へ繰出
合 計	6,600,000	6,600,000	1,000,000	5,600,000	

令和6年度 同窓会積立金会計予算書(案)

(単位：円)

項 目	令和6年度予算額	令和5年度予算額	比較増減	摘 要
繰越金	5,600,000	6,300,000	△700,000	平成22・24～令和5年度積立金
積立金	300,000	300,000	0	本会計から繰入
合 計	5,900,000	6,600,000	△700,000	